

令和3年大網白里市議会第2回定例会文教福祉常任委員会会議録

日時 令和3年6月17日（木曜日）午前9時59分開会

場所 庁舎 3階 第一会議室

出席委員（6名）

岡田憲二	委員長	中野修	副委員長
引間真理子	委員	森建二	委員
堀本孝雄	委員	宮間文夫	委員

出席説明員

なし

事務局職員出席者

議会事務局長	岡部一男	主査	内山悟
主任書記	鶴岡甚幸		

議事日程

第1 開会

第2 委員長挨拶

第3 協議事項

(1) 請願（新規付託案件）の審査について

- ・請願第1号 「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願
- ・請願第2号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

第4 その他

第5 閉会

◎開会の宣告

○副委員長（中野 修副委員長） おはようございます。

ただいまより文教福祉常任委員会を開会いたします。

（午前 9時59分）

◎委員長挨拶

○副委員長（中野 修副委員長） はじめに、委員長から挨拶をお願いします。

○委員長（岡田憲二委員長） 皆さん、お忙しいところ、ご苦勞さまでございます。

今回、当常任委員会で協議する内容は、請願が2件であります。慎重な審査をよろしくお願ひしたいと思ひます。

○副委員長（中野 修副委員長） ありがとうございます。

続きまして、協議事項に入らせていただきます。

委員長、進行のほう、よろしくお願ひいたします。

○委員長（岡田憲二委員長） それでは、傍聴の希望者はありますか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○委員長（岡田憲二委員長） ない。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長（岡田憲二委員長） それでは、ないようですので、会議を進行いたします。

本日の出席委員は6名であります。委員会条例第14条の規定による定足数に達しておりますので、会議は成立いたします。

◎請願第1号 「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

○委員長（岡田憲二委員長） これより当常任委員会に付託となった請願第1号 「国における2022年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願の審査を行いたいと思ひます。

請願の内容については既にお配りしておりますので、朗読を省略させていただきます。

それでは委員の方々の意見を伺いたいと思ひます。

引間さん。

○引間真理子委員 この予算拡充に関する意見ということで、昨年、コロナ禍で休校し、子どもたちのストレスもたくさんあったと思います。子どもたちにとって学習環境はとても大事なことであり、保障されるべきことで、今後、GIGAスクール、子どもの心のケアと十分な予算を確保し、教育課題に取り組むべきだと考えますので、この請願に私は賛成いたします。

以上です。

○委員長（岡田憲二委員長） ほかに。

森委員。

○森 建二委員 そうですね、引間委員がおっしゃられましたけれども、やはりこのコロナ禍でいろんな形で今の状況ですとか、〇〇の教育についての課題が浮き彫りになったんだと思います。やはりITを使った教育ですとか、そういったことに対しては、やはり非常に私もそうですし、ほかの市町村もそうだと思いますが、危うい状況であったということが浮き彫りになったと思いますので、その部分、また、老朽化ですとか、経済状況に対する配慮ですとか、そういったことを鑑みて、この請願については賛成させていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（岡田憲二委員長） ほかに。

堀本委員。

○堀本孝雄委員 私も今、引間委員が言ったように、予算拡充に関する請願については賛成したいと思います。できればこういう意見書を出さないような国の施策をですね、しっかりと増やしてもらい、今後も増やしていってもらいたいなど、こういうふうに思います。よろしくをお願いします。

○委員長（岡田憲二委員長） ほかに、もういいかな。

意見等は出尽くしたようなので、それでは、これより採決に移りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長（岡田憲二委員長） お諮りいたします。

請願第1号を採択することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○委員長（岡田憲二委員長） 挙手総員。

よって、請願第1号は採択と決しました。

以上で請願第1号の審査を終わらせていただきます。

それでは、採択となりましたので、意見書（案）を配付してください。

よろしいですか。

ただいま意見書の案が配付されましたが、この意見書（案）でよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長（岡田憲二委員長） それでは……

○岡部一男議会事務局長 議会の最終日に、この意見書の提出者は委員長、賛成はそれぞれ皆様の委員という形で提出するという形でよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○岡部一男議会事務局長 では、そのように準備させていただきます。

◎請願第2号 「義務教育国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

○委員長（岡田憲二委員長） それでは、続きまして、請願第2号 「義務教育国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願の審査を行いたいと思います。

請願の内容については既にお配りしておりますので、朗読を省略させていただきます。

それでは、委員の方々の意見を伺いたいと思います。

どうぞ。

引間委員。

○引間真理子委員 この国庫制度に関してなんですけれども、やはり教育に関して、地方財政によって格差が生まれるということはあってはならないことだと思います。

また、教職員の確保と教育水準の維持向上のためには、やはりこの負担制度というのは、今後も必要であると思いますので、この請願には賛成させていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（岡田憲二委員長） ほかに。

森委員。

○森 建二委員 3番と同じく財政の良好な自治体、そうではない自治体で教育に差が出るというのはやはり好ましくない。また先生方の給与にも当然差が出るべきではないとも考えます。教育、特にやはり地域の宝であります子どもたちのための国からの財政支出、必要であると思いますし、ぜひこれについてもお願いしたいと思ひまして、賛成をいたします。

以上です。

○委員長（岡田憲二委員長） ほかに。

（発言する者なし）

○委員長（岡田憲二委員長） よろしいですか。

意見等が出尽くしたようでございますので、採決に移りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長（岡田憲二委員長） お諮りいたします。

請願第2号を採択することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○委員長（岡田憲二委員長） 賛成総員。

よって、請願第2号は採択と決しました。

以上で請願第2号の審査を終わります。

それでは、採択となりましたので、意見書（案）を配付してください。

ただいま意見書の案が配付されましたが、この意見書（案）でよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○委員長（岡田憲二委員長） では、そのように準備させて……

はい。

○岡部一男議会事務局長 それでは、この意見書（案）を基に、本会議最終日に採決を踏まえまして、その結果、採択となった場合につきましては、議員発議となります。提出者は委員長、賛成者はそれぞれここにいらっしゃる委員全員という形でよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○岡部一男議会事務局長 では、そのように準備させていただきますので、よろしくお願います。

以上です。

○委員長（岡田憲二委員長） 以上で当委員会に付託された請願の審査を終了いたします。

◎その他

○委員長（岡田憲二委員長） 次に、その他でございますが、何かございますか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○委員長（岡田憲二委員長） なければ、以上で協議事項とその他を終了いたしたいと思いま

す。

◎閉会の宣告

○副委員長（中野 修副委員長） 以上をもちまして、文教福祉常任委員会を閉会いたします。
皆様、お疲れさまでございました。

（午前10時09分）